

「楽しく学ぶ電子掛地図ソフト」の紹介

## 電子掛地図を使った実践例

帝国書院編集部

### はじめに

4年生の社会科に「県（都、道、府）のようす」について調べる学習があります。今回は、本ソフトを使った実践について紹介してみたいと思います。

### 県の特徴を調べよう

ここでの学習の目標は、「〇県（都、道、府）」の地勢図を読み取り、特色ある地域の地形や交通について理解する」ということです。県内における自分たちの市の地理的位置、県全体のおもな産業の概要、交通網のようすやおもな都市の位置、産業や地形条件からみて県内の特色ある地域の人々の生活等について調べます。

#### ア) 位置を調べる

東京都を表示してみましよう。標準地図では、23区内の区分は出てきません。しかし、詳細地図にすると23区の区分が出てきます。自分たちの住んでいる区の位置を確かめてみてはどうでしょうか。この地図を印刷して配り、色塗りをさせてみるのもいいと思います。



自分の区の位置がわかったら、周りには何区や何県があるか調べてみましょう。

#### イ) 地形を調べる

次に、自分たちの土地は山地なのか平野なのか。また、近くにはどんな川が流れているのか調べてみます。オーバーレイ機能を使って、この地図に地形図と河川を重ねてみましょう。

たとえば、自分が住んでいる区が板橋区だとすると、「自分たちの区は平野にあること」「近くに荒川・石神井川が流れていること」がわかります。さ

らに、区の真ん中あたりでやや小高い土地が、横切っていることなどもわかると思います。



東京都全体の土地のようすもよくわかります。

オーバーレイ機能を使って、おもな農産物・田んぼ・畑・果樹園などを重ねていくと、地形によって土地利用の違いが見られることもわかります。

このように、調べたい要素を組み合わせると、表示させ、その傾向性をつかむのに本ソフトは最適であると思います。

#### ウ) 交通を調べる

たとえば次のような課題で調べてみたらどうでしょう。「板橋区の〇〇駅から奥多摩湖まで行ってみよう。鉄道を使うと、どうやっていけばいいだろう。道路だったら、どうやっていくのがいいだろう」

区分図に鉄道や道路図を重ねてみます。場合によってこれも印刷をして、おもな鉄道の名前や道路の名前を書き込んでもいいと思います。それぞれの行き方を発表し、交通網のようすについて気づいたことを発表し合うのもいいと思います。

### 鳥瞰図・統計資料も使ってみよう

このソフトには鳥瞰図もついていてさまざまな角度から土地の高低をみることもできます。さらに、多様な実践ができると思います。

